

資料

道德學習指導案

情報教育年間計画一覽

6年2組 道徳学習指導案

平成20年7月11日(金) 第2限
指導者 廣田 恵子

- 1 主題名 誠実な心で 内容項目1-(4) 誠実・明朗
- 2 資料名 「のりづけされた詩」(出典 学研)
- 3 ねらい 誠実に行動しようとする心情を育てる。
・他人の詩を黙って使ってしまった「私」の心の葛藤について考えようとする。
・著作者側の作品に対する思いに気づき、誠実に行動していこうとする意欲を高める。

4 主題設定の理由

(1) 主題について

昨今では、情報に関わる犯罪やトラブルが子どもの世界とも無縁ではなくなってきた。そのため、情報モラルの学習の必要性は年々高くなっていると言える。その中の「著作権」も日ごろより耳慣れた言葉ではあるが、どのようなものに適用されているかは子ども達にとっても教師にとってもはっきりとした判断が付きにくい。著作者への配慮が著作権の根底に流れている。著作物の保護、著作者への思いやりが規範意識にもつながると考えている。著作権に関する法律や知識は、総合的な学習や教科と関連させて行うことができるが、道徳では無断でコピーしたいという心にブレーキをかけ、誠実に行動していこうという意識を育てたい。今後、パソコンや携帯など様々な機器を利用する上で、よく考えて判断したり、見えない相手にも誠実に行動する態度が危険を回避したり、他人に迷惑をかけたしまう事を防ぐことになる。中学校での「自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任を持つ」という結果に責任を持つことにつながるためにも、誠実に行動するとはどういう事かを考えさせたい。

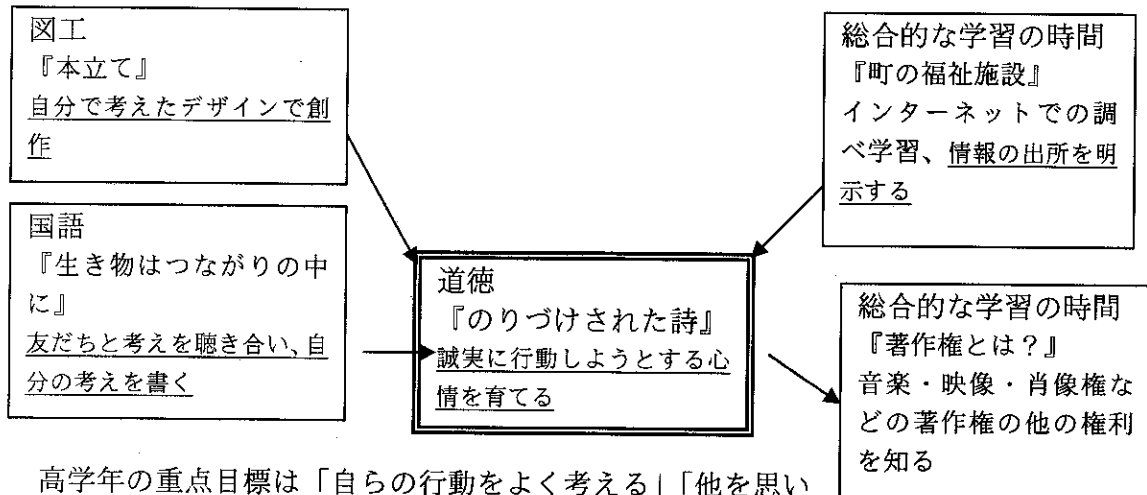
(2) 児童について

クラスの中では友だちに対して思いやりある行動が見られ、過ちをおかしても誠実に反省し友だちには行動で示そうとしている。著作権に関しては、「著作権」という言葉は知っている。教科や総合的な学習の時間には、調べた情報の出所を明記することや、引用する上でも出所を書くことも知識としては理解している。国語や算数などの教科でも友だちの考えを書くときには、「〇〇さんの考え」と自分の考えのように書いてはいけないと指導されている。しかし、相手への配慮、思いやりの心でそうしているわけではない。無断で友だちの考えを使ってはいけないとは思っているが、相手が分からない著作物に関しては意識が薄いと思われる。学校生活の中でも、最高学年として挨拶運動や、委員会活動など自主的に活動し、責任を持って頑張ろうとする態度は見られる。集団では誠実に対応していこうとする行動は見られるが、自分ひとりの行動では誠実にしようとする気持ちはあっても行動まではなかなか移せない。そこで資料では失敗しても後悔して誠実に行動しようとする主人公の態度に気付かせたい。

(3) 資料について

本時の資料は、詩の創作に困った主人公が、「5年生の詩集」という本から無断で他人の詩を使ってしまうと言う内容である。自分でうまく作れない焦りからつい、利用してしまう。自分に関わりのある相手ではないため、つい使ってしまうことにもつながっている。誰にも分かるはずがないとは思っているが、自分自身がそのことによって食事ものに通らないほど後悔することになるのである。いいものを作りたいという欲求は誰にでもある。その心の隙間をついた子どもには身近な資料だと言える。

5本時と研究との関連について



高学年の重点目標は「自らの行動をよく考える」「他を思いやる」である。総合的な学習や教科で、情報の出所を明示したり、他人の作品や考えを無断で使わない事は定着しつつある。自分が行動する前に立ち止まってよく考え、無断で使われた人の気持ちを思いやるということにつながると考えている。図工の本立てでは色々なデザインが考えられ、いいアイデアが友だちから出されると自分もいいものを作りたいと意欲を持つ。真似ではなく自分で考えたデザインにこそ価値があると考えているであろう。国語では説明文の課題に対して友だちと考えを聴き合っている。自分の考えより良いと思える考えを聞いてノートに書くときには「〇〇さんの考え」と書くことも定着してきている。名前を明記しておくことで、良い考えを聞かせてくれた友だちに敬意や感謝の気持ちを持つことになる。高学年の重点目標である「自らの行動をよく考える」「他を思いやる」ことは、自分の行動をよく考えること、自分で自分の気持ちや行動をコントロールできる自律性を持ってほしいと思っている。相手に対する思いやりの心や配慮があれば、本時のねらいである誠実な行動につながる。本時では、自分がいいものを作りたいという気持ちにから、二行の詩と題名を無断で使ってしまった主人公の心の葛藤を考えることで、よく考えておけば良かったという後悔の気持ちに迫ることができる。また、自分の心に、友だちに、詩の作者に対しても誠実でなかったと後悔することが、誠実な行動へと主人公を動かしている事に気付かせたい。終末では、作者がどんな思いで創作しているか、どんな気持ちが著作物に込められているかにも触れ、作品に誠実に対応していこうとする意欲も高めたい。今後、総合的な学習では、著作権の音楽や映像にも権利があることや法律があることも学習していくためにも著作権への思いに触れて、作者に思いを寄せて色々な作品に接してほしいと願っている。

6本時の展開

時	学習活動	・指導の工夫や留意点 ☆評価
	<p>1 自分の日常生活から問題意識を持たせる</p> <div data-bbox="284 312 836 395" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友だちの絵や作品で真似したいと思ったことはありますか？</p> </div> <p>2 資料を聞き、感想を出し合う。</p> <p>3 主人公の気持ちを考え聴き合う。</p> <div data-bbox="284 541 879 646" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>家で詩を作っている時の主人公はどんな気持ちだったでしょう？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ カッコいい詩を作りたい ・ 光子さんやみんなを感心させる詩を作ってみせるわ ・ どうしよう、うまく書けない ・ 出だしさえ決まれば書けるのに ・ いつもなら、すぐにできるのに <div data-bbox="284 947 852 1043" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水平線という詩を見つけて読んだとき主人公はどんな気持ちだったでしょう？</p> </div> <div data-bbox="276 1100 539 1489" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>私の気持ちにぴったり これを使えば後は書けるわ 知らない人の詩だし、誰にもわからないわ</p> </div> <div data-bbox="563 1100 831 1489" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>使ってもいいのかしら いくら自分の気持ちにぴったりでも他人の詩だし、自分で考えなくては でもいい言葉が浮かばない</p> </div> <div data-bbox="276 1552 874 1646" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大きく揺れ動く心のなかはどんなことを考えていたのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他人の詩を使ってしまってどうしよう ・ みんなにばれないかな ・ どうしてあんなことをしてしまったのだろう ・ あのとき、思いとどまって書かなければよかった 	<p>・ 指導の工夫や留意点 ☆評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の生活の中から真似したい作品が身近にあることに気付かせ、資料への問題意識を持たせる。(視点①) ・ 感想を出し合うことで、どこに子どもが感を持っているのか、何を大事だと感じているのかをつかみ、発問につなげる。 ・ いいものを作りたいという主人公の悩む気持ちに共感させる。 ・ 他人の詩を使うか使わないか悩む主人公の気持ちに迫れるように、板書で比較しながら考えさせる。 ・ 自分の考えが持てない児童がいる場合は、相談タイムを設け、少人数で友だちの考えを聞きながら自分の考えをはっきりさせる。 ・ 主人公が詩を提出した後、食事ものを通らないほど後悔する気持ちを提出前と比較することで考えさせる。(視点②) ・ 必要に応じて自分の考えを書くこと時間を設ける。

<ul style="list-style-type: none"> みんなや先生に本当のことを言わなくては でも自分じゃないことがばれたら、みんなからどう思われるだろうか このままでは、一生懸命書いている他の友だちにも悪いから、先生に打ち明けよう <p>4 コブクロの蕾の歌詞に込められた作者の思いに触れる。(コブクロ DVD)</p> <p>5 「まなび」を書く。</p>	<p>☆他人の詩を黙って使ってしまった「私」の心の葛藤について考えようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 創作する事の大変さや歌詞には作者の思いが込められていることに気付く。(視点③) ☆著作者側の作品に対する思いに気づき、誠実に行動していこうとする意欲を高める。 ・本時で学んだ事や自分の生活に関わることなどを書く(視点④)
---	--

視点①関心・意欲を高め、価値の方向付けをする工夫

視点②聞き合うことでより高い価値に気付かせ、自己の考えを深める工夫

視点③終末の工夫

視点④「まなび」

*特に必要な視点だけを記述する

7 板書計画

